

ATDE

Install Guide

Version 1.0.0

2006 年 12 月 28 日

株式会社アットマークテクノ
<http://www.atmark-techno.com/>

 **Armadillo** 公式サイト
<http://armadillo.atmark-techno.com/>

SUZAKU 公式サイト
<http://suzaku.atmark-techno.com/>

目次

1.	はじめに	1
1.1.	対象となる読者	1
1.2.	本書の構成	1
1.3.	インストールPCの推奨スペック	2
1.4.	フォントについて	2
1.5.	コマンド入力例の表記について	2
1.6.	注意事項	2
2.	Windows上にATDEを構築する	3
2.1.	インストールの前に	3
2.1.1.	準備するもの	3
2.1.2.	ATDEイメージの展開	3
2.2.	VMPlayerのインストール	3
2.3.	ATDEの起動	7
2.4.	アンインストール	8
2.4.1.	VMPlayerのアンインストール	8
2.4.2.	atdeフォルダの削除	8
3.	Linux上にATDEを構築する	9
3.1.	インストールの前に	9
3.1.1.	準備するもの	9
3.1.2.	ATDEイメージの展開	9
3.1.3.	kernel-headersのインストール	9
3.2.	VMwareのインストール	10
3.2.1.	RedHat系ディストリビューションの場合	10
3.2.2.	Debian系ディストリビューションの場合	10
3.2.3.	インストーラ非使用の場合	12
3.3.	ATDEの起動	14
3.4.	アンインストール	16
3.4.1.	VMwareのアンインストール	16
3.4.2.	atdeディレクトリの削除	16
4.	Appendix	17
4.1.	シリアルポートに関して	17
4.1.1.	動作確認方法	17
4.1.2.	動作しない場合の対処方法	17
4.2.	ATDEの画面解像度を変更する	18
4.2.1.	ATDEを起動する	18
4.2.2.	画面解像度を変更する	18
4.2.3.	Xの再起動	19
4.3.	自動ログインしないようにするには	19

表目次

表 1-1	インストールPCの推奨スペック	2
表 1-2	使用しているフォント	2
表 1-3	表示プロンプトと実行環境の関係	2
表 2-1	デフォルトのユーザ名とパスワード	7
表 3-1	取得ファイル名	9
表 3-2	デフォルトのユーザ名とパスワード	15
表 4-1	シリアルポート名の例	17

図目次

図 2-1	VMPlayerインストーラ起動画面	4
図 2-2	インストール場所の指定画面	4
図 2-3	ショートカット作成場所の指定画面	5
図 2-4	Google検索バーの指定画面	5
図 2-5	設定確認画面	6
図 2-6	インストール完了画面	6
図 2-7	vmxファイル指定画面	7
図 2-8	VMPlayer削除画面	8
図 3-1	Linuxでのzipファイルの展開	9
図 3-2	kernel-headersインストール例	10
図 3-3	rpmでのインストール方法	10
図 3-4	rpmをdeb形式へ変換	10
図 3-5	dpkgでのインストール方法	10
図 3-6	VMPlayer設定画面	11
図 3-7	アーカイブファイルの展開	12
図 3-8	vmware-install.plでのインストール方法	13
図 3-9	VMPlayerの起動	14
図 3-10	ライセンス同意画面	14
図 3-11	VMPlayer起動エラーメッセージ	15
図 3-12	エラーの解決例	15
図 3-13	vmxファイル指定画面	15
図 3-14	rpmでのアンインストール方法	16
図 3-15	dpkgでのアンインストール方法	16
図 3-16	vmware-uninstall.plでのアンインストール方法	16
図 3-17	ATDEディレクトリの削除	16
図 4-1	VMware設定ファイルの変更	17
図 4-2	シリアルポートへのアクセスエラー	17
図 4-3	画面解像度の設定例	19
図 4-4	ログイン画面の設定 1	19
図 4-5	rootパスワード入力画面	20
図 4-6	ログイン画面の設定 2	20

1. はじめに

ATDE (Atmark Techno Development Environment) は、VMware 上で動作するアットマークテクノ製品の開発環境です。Debian GNU/Linux をベースに、開発に必要なクロスコンパイラや必要なツールが事前にインストールされています。ATDE を使うことで、開発用 PC の用意やクロスコンパイラのインストールなど、開発環境の構築を容易にします。ATDE の初期状態でインストールされているソフトウェアは以下の URL で確認することができます。

<http://download.atmark-techno.com/atde/atde-dpkg-list.txt>



TIPS

VMware とは

Windows または Linux 上で任意の仮想マシンを実行できるようにするソフトウェアです。標準的なデスクトップアプリケーションと同じようにインストールでき、その後仮想マシンを別のウィンドウ内で実行できます。本書の執筆時点では英語版のみの公開となっています。なお、本書では VMware Player を VMPlayer と略します。

1.1. 対象となる読者

本書の対象となる読者は、Windows または Linux をお使いで、アットマークテクノ製品用の開発環境を簡単に構築したい方です。また、Windows または Linux の基本的な使い方を理解していることを前提としています。

1.2. 本書の構成

本書は、ATDE を使用する上で必要な情報のうち、以下の点について記述されています。

- VMPlayer のインストール方法
- ATDE の起動方法
- VMPlayer のアンインストール方法
- ATDE からシリアルポートを使用した場合の動作確認
- ATDE の画面解像度の設定
- ATDE で自動ログインしないようにする

1.3. インストール PC の推奨スペック

表 1-1 インストール PC の推奨スペック

項目	スペック
CPU	1.5GHz またはそれ以上
メモリ	512MB またはそれ以上
HDD	10GB またはそれ以上の空き容量
OS	x86 の Windows または Linux
その他	シリアルポート (USB-シリアル変換アダプターを含む) が 1 ポート以上あること

1.4. フォントについて

本書では以下のようにフォントを使っています。

表 1-2 使用しているフォント

フォント例	説明
本文中のフォント	本文
[PC ~]\$ ls	プロンプトとユーザ入力文字列
⋮	コマンド実行後の出力を省略
⋮	

1.5. コマンド入力例の表記について

本書に記載されているコマンドの入力例は、表示されているプロンプトによって、それぞれに対応した実行環境を想定して書かれています。「/」の部分はカレントディレクトリによって異なります。各ユーザのホームディレクトリは「~」で表わします。

表 1-3 表示プロンプトと実行環境の関係

フォント例	説明
[PC /]#	作業用 PC 上の特権ユーザで実行
[PC /]\$	作業用 PC 上の一般ユーザで実行
[ATDE /]#	ATDE 上の特権ユーザで実行
[ATDE /]\$	ATDE 上の一般ユーザで実行

1.6. 注意事項

本書で紹介するソフトウェア(付属のドキュメント等も含みます)は、現状のまま (AS IS) 提供されるものであり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本製品の使用による結果についてもなんら保証するものではありません。

2. Windows 上に ATDE を構築する

この章では Windows に VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

2.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

2.1.1. 準備するもの

ATDE を使うためには以下のものがが必要です。

- ATDE イメージ
ATDEイメージ (atde.zip) は、ATDEデータCD-ROM (以降「付属CD」とします) の/vmwareフォルダにあります。弊社ダウンロードサイト (<http://download.atmark-techno.com/atde/>) から取得できます。
- VMPlayer のインストーラ
VMPlayerのインストーラ (VMware-player.exe) は、VMPlayerダウンロードサイト (<http://www.vmware.com/download/player/>) から取得できます。

2.1.2. ATDE イメージの展開

用意した atde.zip を任意のフォルダに展開します。



TIPS

展開ソフトによっては展開に失敗する場合があります。WindowsXP の標準機能で正常に展開できることを確認しています。

2.2. VMPlayer のインストール

VMPlayer のインストール手順を説明します。

- ① ダウンロードした VMware-player.exe を起動し、「Next」ボタンをクリックします。



図 2-1 VMPlayer インストーラ起動画面

- ② インストールフォルダを指定し、「Next」ボタンをクリックします。

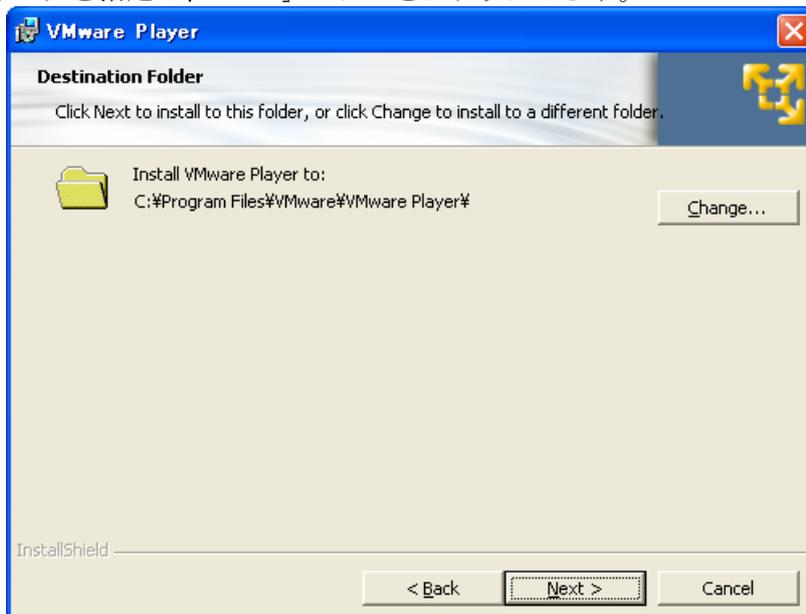


図 2-2 インストール場所の指定画面

- ③ ショートカットを作成する場所を指定し、「Next」ボタンをクリックします。

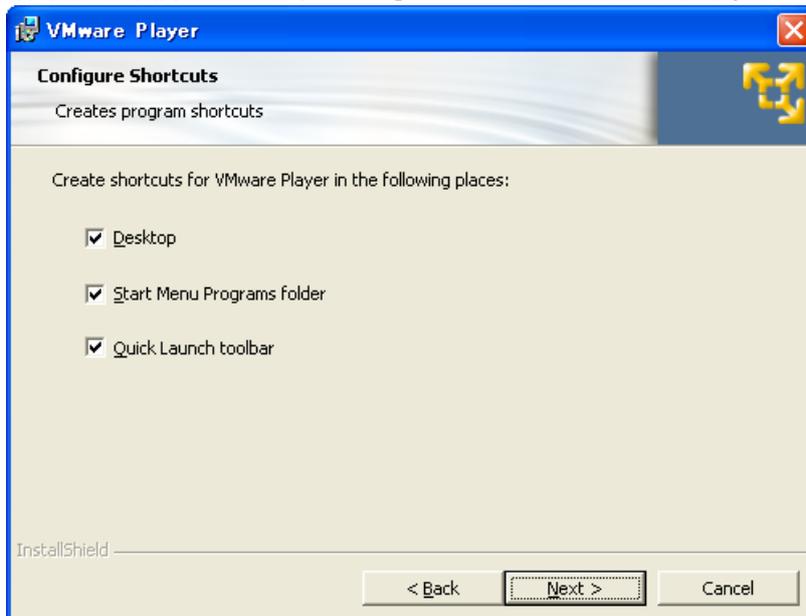


図 2-3 ショートカット作成場所の指定画面

- ④ VMPlayer に Google 検索バーを付ける場合にはチェックを入れて「Next」ボタンをクリックします。

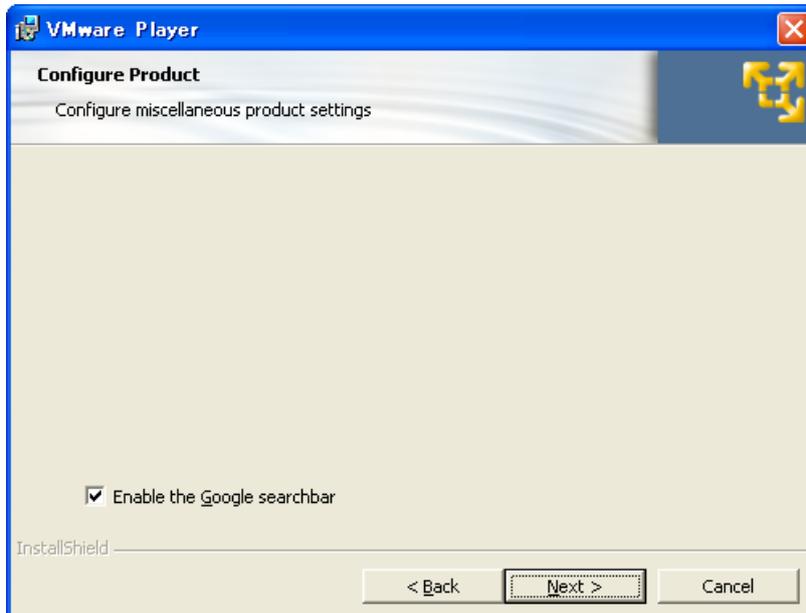


図 2-4 Google 検索バーの指定画面

- ⑤ 「Install」 ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

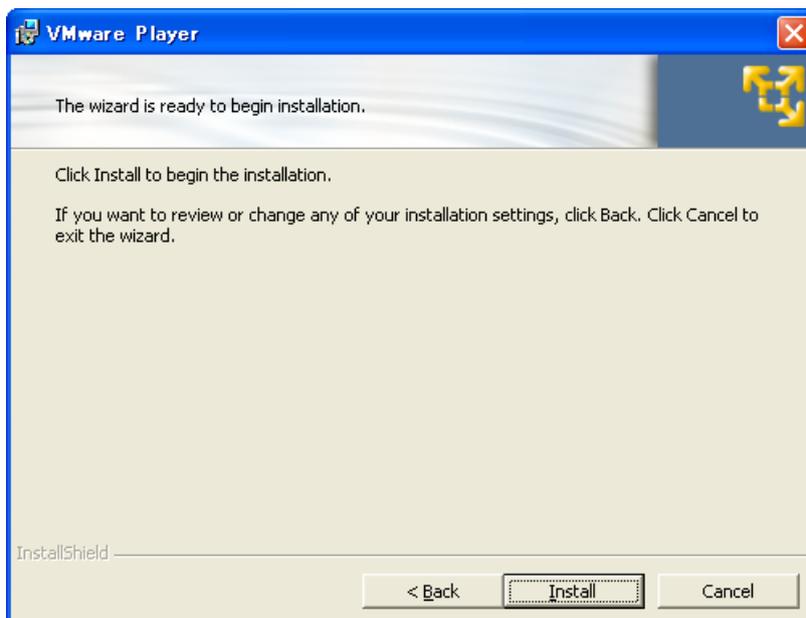


図 2-5 設定確認画面

- ⑥ インストールが終了すると、図 2-6 が表示されます。「Finish」ボタンをクリックしてインストーラを終了してください。

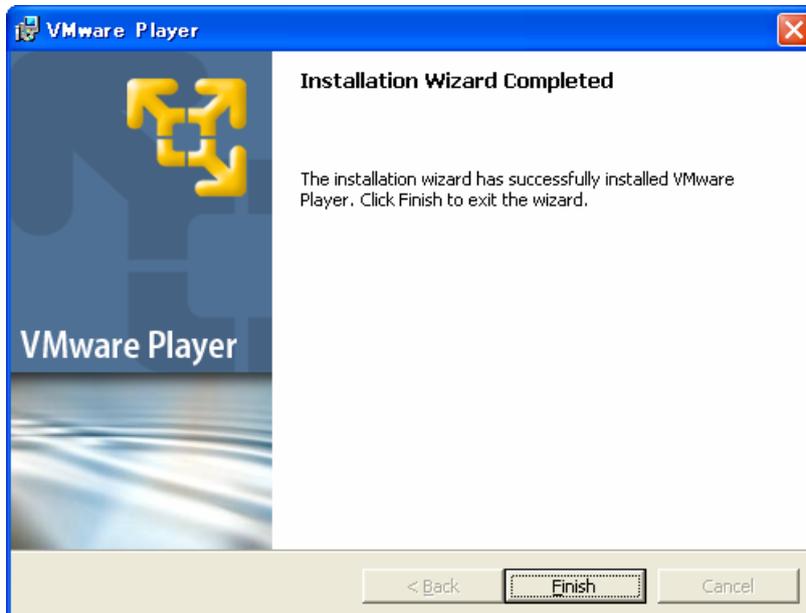


図 2-6 インストール完了画面

2.3. ATDE の起動

インストールした vmplayer.exe を実行します。VMPlayer が起動すると、ファイルダイアログが開きます。「2.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde フォルダにある atde.vmx を指定してください。

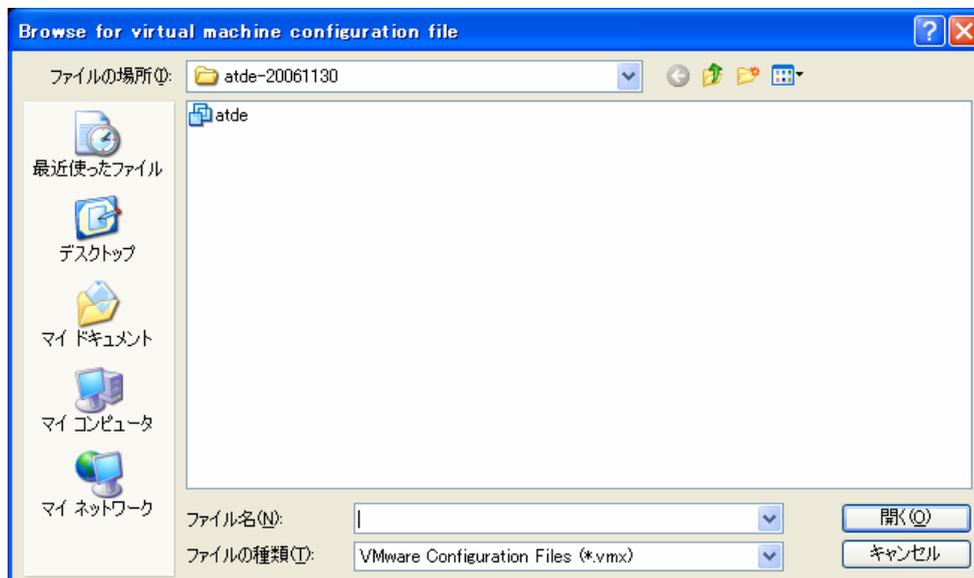


図 2-7 vmx ファイル指定画面

ログインユーザは、次の 2 種類が用意されています。デフォルトの設定では、「atmark」で自動ログイン^{*1}します。

表 2-1 デフォルトのユーザ名とパスワード

ユーザ名	パスワード	権限
root	root	特権ユーザ
atmark	atmark	一般ユーザ

^{*1}自動的にログインさせたくないときは「4-3 自動ログインしないようにするには」を参照してください。

2.4. アンインストール

2.4.1. VMPlayer のアンインストール

「スタートメニュー」の「コントロールパネル」にある「プログラムの追加と削除」から VMware Player を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。



図 2-8 VMPlayer 削除画面

2.4.2. atde フォルダの削除

もしデータが必要ないのであれば、「2.1.2 ATDE イメージの展開」で展開した atde フォルダを削除してください。

3. Linux 上に ATDE を構築する

この章では Linux へ VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

3.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

3.1.1. 準備するもの

ATDE を使うためには以下のものがが必要です。

- ATDE イメージ
ATDEイメージ (atde.zip) は、付属CDの/vmwareディレクトリにあります。弊社ダウンロードサイト (<http://download.atmark-techno.com/atde/>) から取得できます。
- VMPlayer のアーカイブファイル
VMPlayerのアーカイブファイルは、VMPlayerダウンロードサイト (<http://www.vmware.com/download/player/>) から取得できます。お使いのディストリビューションに合わせて、下記のいずれか1つを選択してご利用ください。

表 3-1 取得ファイル名

ディストリビューション	ファイル名
RedHat 系	VMware-player.i386.rpm
Debian 系	VMware-player.i386.rpm (3.2.2. で deb 形式に変換します。)
インストーラ非使用	VMware-player.tar.gz

3.1.2. ATDE イメージの展開

用意した atde.zip を任意のディレクトリに展開します。
コンソールから以下のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]$ unzip atde.zip
[PC ~]$ ls
atde    atde.zip
```

図 3-1 Linux での zip ファイルの展開

3.1.3. kernel-headers のインストール

VMPlayer のインストールには、kernel-headers がインストールされている必要があります。

kernel-headers (または glibc-kernelheaders か linux-headers) は、お使いの kernel と同じバージョンのものをインストールしてください。

以下は、Debian GNU/Linux 3.1 でインストールする場合の例です。

```
[PC ~]# apt-get install kernel-headers-`uname -r`
```

図 3-2 kernel-headers インストール例

3.2. VMware のインストール

ATDE を動作させるために必要な VMPlayer のインストール手順を説明します。

3.2.1. RedHat 系ディストリビューションの場合

VMware-player.i386.rpm を使ってインストールします。
2行目のコマンド実行後は図 3-6 の画面になります。

```
[PC ~]# rpm -ivh VMware-player.i386.rpm  
[PC ~]# vmware-config.pl          . . . 図 3-6 へ
```

図 3-3 rpm でのインストール方法

3.2.2. Debian 系ディストリビューションの場合

VMware-player.i386.rpm を deb 形式に変換します。

```
[PC ~]$ dpkg -I alien  
alien に一致するパッケージが見つかりません。  
[PC ~]$ sudo apt-get install alien  
:  
[PC ~]$ fakeroot alien -d -c -k VMware-player.i386.rpm  
[PC ~]$ ls  
vmwareplayer.i386.deb
```

図 3-4 rpm を deb 形式へ変換

図 3-4 で作成した deb パッケージを使ってインストールします。
2行目のコマンド実行後は図 3-6 の画面になります。

```
[PC ~]# dpkg -i vmwareplayer.i386.deb  
[PC ~]# vmware-config.pl          . . . 図 3-6 へ
```

図 3-5 dpkg でのインストール方法

```

:
You must read and accept the End User License Agreement to continue.
Press enter to display it. . . . (1)
:
Do you accept? (yes/no) yes . . . (2)
:
In which directory do you want to install the mime type icons?
[/usr/share/icons] . . . (3)

What directory contains your desktop menu entry files? These files have a
.desktop file extension. [/usr/share/applications] . . . (4)
:
In which directory do you want to install the application's icon?
[/usr/share/pixmaps] . . . (5)
:
None of the pre-built vmmon modules for VMware Player is suitable for your
running kernel. Do you want this program to try to build the vmmon module for
your system (you need to have a C compiler installed on your system)?
[yes] . . . (6)
:
What is the location of the directory of C header files that match your running
kernel? [/lib/modules/2.4.27-3-386/build/include] . . . (7)
:
Would you like to skip networking setup and keep your old settings as they are?
(yes/no) [yes] . . . (8)
:
You can now run VMware Player by invoking the following command:
"/usr/bin/vmplayer".

Enjoy,

--the VMware team

[PC ~]#
```

図 3-6 VMPlayer 設定画面

- (1) [Enter]キーを押すとライセンス同意書が表示されます。
- (2) (1)で表示されたライセンスに同意するかどうか答えます。**yes**とタイプして[Enter]キーを入力してください。
- (3) MIME タイプアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- (4) デスクトップメニューの登録先ディレクトリを指定します。
- (5) VMPlayer のアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- (6) vmmon モジュールをリビルドするかを指定します。
- (7) kernel ヘッダーファイルのあるディレクトリを指定します。
- (8) ネットワークの設定をスキップするかを答えます。

**TIPS**

デフォルトの設定で良い場合、(2)以外は[Enter]キーを入力すればよいでしょう。

3.2.3. インストーラ非使用の場合

アーカイブファイルを展開します。

```
[PC ~]$ tar zxvf VMware-player.tar.gz
[PC ~]$ ls
vmware-player-distrib  VMware-player.tar.gz
```

図 3-7 アーカイブファイルの展開

展開したディレクトリにあるインストールスクリプトを使ってインストールします。

```
[PC ~]$ cd vmware-player-distrib
[PC ~/vmware-player-distrib]$ ls
FILES  bin  doc  etc  installer  lib  vmware-install.pl
[PC ~/vmware-player-distrib]$ sudo ./vmware-install.pl
:
Installing the content of the package.

In which directory do you want to install the binary files?
[/usr/bin] . . . (1)
:
What is the directory that contains the init directories (rc0.d/ to rc6.d/)?
[/etc] . . . (2)
:
What is the directory that contains the init scripts?
[/etc/init.d] . . . (3)
:
In which directory do you want to install the library files?
[/usr/lib/vmware] . . . (4)
:
The path "/usr/lib/vmware" does not exist currently. This program is going to
create it, including needed parent directories. Is this what you want?
[yes] . . . (5)
:
In which directory do you want to install the documentation files?
[/usr/share/doc/vmware] . . . (6)
:
The path "/usr/share/doc/vmware" does not exist currently. This program is
going to create it, including needed parent directories. Is this what you want?
[yes] . . . (7)
:
You must read and accept the End User License Agreement to continue.
Press enter to display it. . . . (8)
:
Do you accept? (yes/no) yes . . . (9)
:
In which directory do you want to install the mime type icons?
[/usr/share/icons] . . . (10)
:
```

```

What directory contains your desktop menu entry files? These files have a
.desktop file extension. [/usr/share/applications]          . . . (11)

In which directory do you want to install the application's icon?
[/usr/share/pixmaps]          . . . (12)
:
None of the pre-built vmmon modules for VMware Player is suitable for your
running kernel. Do you want this program to try to build the vmmon module for
your system (you need to have a C compiler installed on your system)?
[yes]          . . . (13)
:
What is the location of the directory of C header files that match your running
kernel? [/lib/modules/2.4.27-3-386/build/include]          . . . (14)
:
Do you want networking for your virtual machines? (yes/no/help)
[yes]          . . . (15)
:
Do you want to be able to use NAT networking in your virtual machines? (yes/no)
[yes]          . . . (16)
:
Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help)
[yes]          . . . (17)
:
Do you wish to configure another NAT network? (yes/no) [no]          . . . (18)

Do you want to be able to use host-only networking in your virtual machines?
[yes]          . . . (19)
:
Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help)
[yes]          . . . (20)
:
Do you wish to configure another host-only network? (yes/no) [no]          . . . (21)
:
Would you like to enable the Google searchbar? (yes/no) [no]          . . . (22)
:
Enjoy,

--the VMware team

[PC ~/vmware-player-distrib]$

```

図 3-8 vmware-install.pl でのインストール方法

- (1) 実行ファイルをインストールするディレクトリを指定します。
- (2) init ディレクトリのあるディレクトリを指定します。
- (3) init スクリプトのあるディレクトリを指定します。
- (4) VMPlayer のライブラリをインストールするディレクトリを指定します。
- (5) (4)で指定したディレクトリが存在しない場合に作成するかどうか答えます。
- (6) ドキュメントファイルをインストールするディレクトリを指定します。
- (7) (6)で指定したディレクトリが存在しない場合に作成するかどうか答えます。
- (8) [Enter]キーを入力するとライセンス同意書が表示されます。
- (9) (8)で表示されたライセンスに同意するかどうか答えます。**yes** とタイプして[Enter]キーを入力してください。
- (10) MIME タイプアイコンをインストールするディレクトリを指定します。

- (11) デスクトップメニューの登録先ディレクトリを指定します。
- (12) VMPlayer のアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- (13) vmmon モジュールをリビルドするかを指定します。
- (14) kernel ヘッダーファイルのあるディレクトリを指定します。
- (15) VMPlayer でネットワークに接続するかを指定します。
- (16) VMPlayer でホスト OS と IP アドレスを共有するかを指定します。
- (17) (16) の準備をするかを指定します。
- (18)他に(16)の設定をするかを指定します。
- (19) VMPlayer を動かしているマシンを経由してネットワークを使用するかを指定します。
- (20) VMPlayer を動かしているマシンとのネットワークの使用を準備するかを指定します。
- (21) 他のネットワークを設定するかを指定します。
- (22) Google 検索バーを使うかを指定します。



TIPS

デフォルトの設定で良い場合、(9)以外は[Enter]キーを入力すればよいでしょう。

3.3. ATDE の起動

- ① コンソールで次のように入力します。

```
[PC ~]$ vmplayer
```

図 3-9 VMPlayer の起動

- ② ライセンス同意画面が表示されます。「Accept」ボタンをクリックしてください。

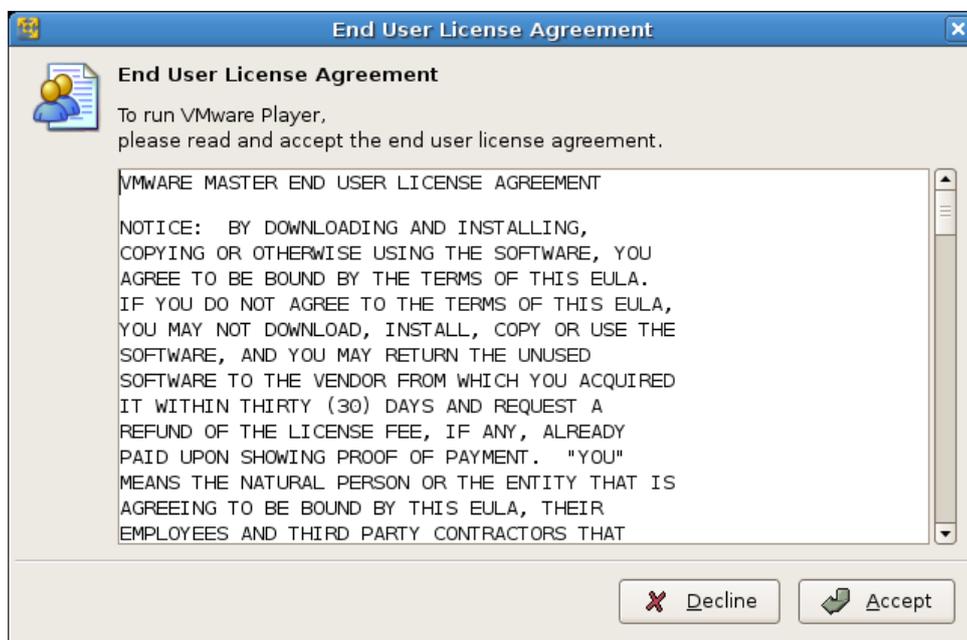


図 3-10 ライセンス同意画面

ここで、VMPlayer が、`/usr/lib/vmware/lib/libgcc_s.so.1/libgcc_s.so.1` をロードしようとしてエラーが発生する場合があります。コンソールから起動した場合は以下のようなエラーメッセージが表示されます。

```
(vmpayer:5411): libgnomevfs-WARNING **: Cannot load module
`/usr/lib/gnome-vfs-2.0/modules/libfile.so'
(/usr/lib/vmware/lib/libgcc_s.so.1/libgcc_s.so.1: version `GCC_4.2.0' not found
(required by /usr/lib/libstdc++.so.6))
```

図 3-11 VMPlayer 起動エラーメッセージ

この場合はコンソールから次のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]$ cd /usr/lib/vmware/lib/libgcc_s.so.1
[PC ~]$ sudo mv libgcc_s.so.1 libgcc_s.so.1.bak
```

図 3-12 エラーの解決例

- ③ ファイルダイアログが開きます。「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde ディレクトリにある `atde.vmx` を指定してください。

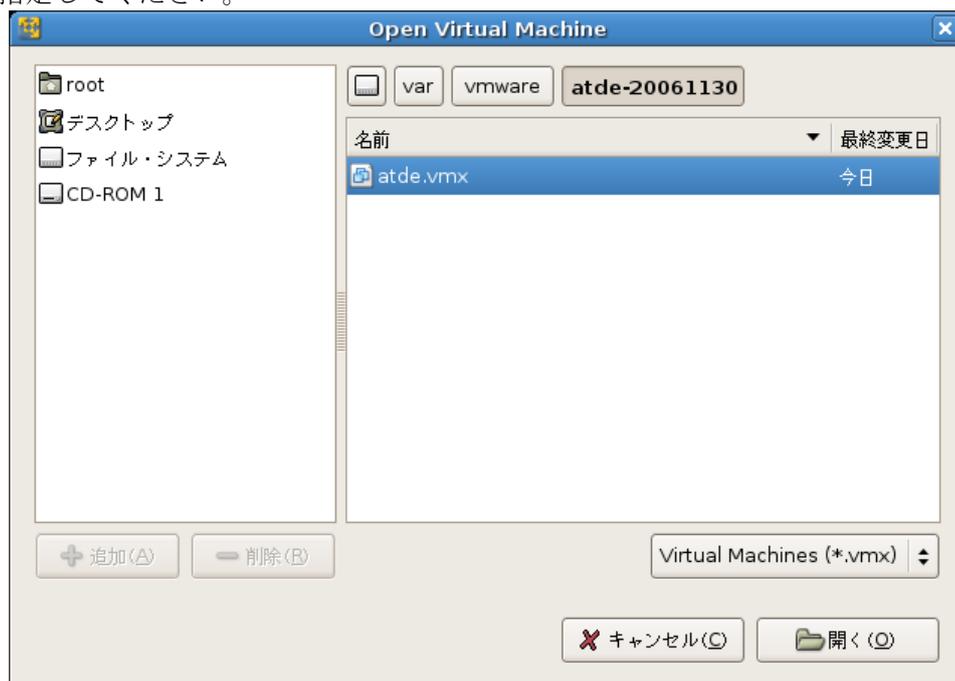


図 3-13 vmx ファイル指定画面

ログインユーザは、次の 2 種類が用意されています。デフォルトの設定では、「atmark」で 自動ログイン^{*1} します。

表 3-2 デフォルトのユーザ名とパスワード

ユーザ名	パスワード	権限
root	root	特権ユーザ
atmark	atmark	一般ユーザ

*1 自動的にログインさせたくないときは「4-3 自動ログインしないようにするには」を参照してください。

3.4. アンインストール

3.4.1. VMware のアンインストール

- RedHat 系ディストリビューションの場合
以下のコマンドを実行します。

```
[PC ~]# rpm -e vmwareplayer
```

図 3-14 rpm でのアンインストール方法

- Debian 系ディストリビューションの場合
以下のコマンドを実行します。

```
[PC ~]# dpkg -r vmwareplayer
:
[PC ~]# dpkg -purge vmwareplayer
:
[PC ~]# rm -rf /etc/vmware /usr/lib/vmware/
```

図 3-15 dpkg でのアンインストール方法

- インストーラ非使用の場合
以下のコマンドを実行します。

```
[PC ~]# vmware-uninstall.pl
```

図 3-16 vmware-uninstall.pl でのアンインストール方法

3.4.2. atde ディレクトリの削除

もしデータが必要ないのであれば、「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde フォルダを削除してください。

```
[PC ~]$ ls
atde
[PC ~]$ rm -rf atde
```

図 3-17 ATDE ディレクトリの削除

4. Appendix

4.1. シリアルポートに関して

通常、何も設定しなくても ATDE からシリアルポートを使用することができます。

4.1.1. 動作確認方法

ATDE が動作している状態で PC とシリアル機器を接続し、電源を入れて動作を確認してください。

4.1.2. 動作しない場合の対処方法

- PC にシリアルポートが複数ある場合、atde¥atde¥atde.vmx (Linux の場合は atde/atde/atde.vmx) ファイルをテキストエディタで開き、serial0.fileName の値を適切に変更してください。

```
serial0.present = "TRUE"
serial0.fileName = "Auto detect"
serial0.autodetect = "TRUE"
```

この箇所を変更します

図 4-1 VMware 設定ファイルの変更

表 4-1 シリアルポート名の例

OS	シリアルポートのデバイス名
Windows	COM1, COM2 等
Linux	/dev/ttyS0, /dev/ttyS1, /dev/ttyUSB0 等

- VMPlayer のメニューバーにある「Serial」ボタン (USB-シリアル変換アダプター使用時は「USB device」ボタン) が押された状態になっているかを確認してください。
- Windows 使用時に図 4-2 のような画面が表示された場合はすでにシリアルポートが使用されています。エラーメッセージに書かれているシリアルポートを開放してください。

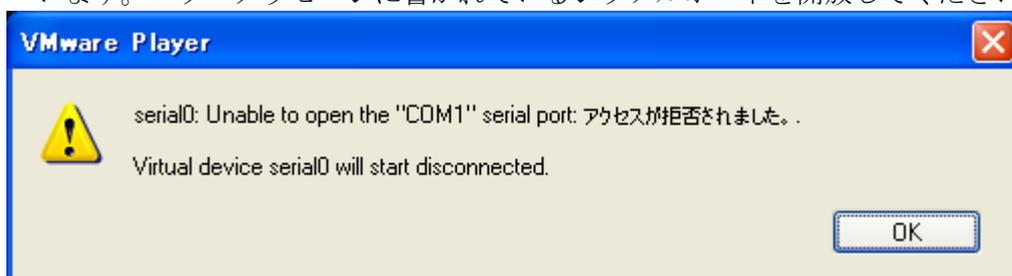


図 4-2 シリアルポートへのアクセスエラー

4.2. ATDE の画面解像度を変更する

ATDE の画面解像度を変更する手順を説明します。

4.2.1. ATDE を起動する

- Windows の場合
「2.3. ATDE の起動」を参照し ATDE を起動してください。
- Linux の場合
「3.3. ATDE の起動」を参照し ATDE を起動してください。

4.2.2. 画面解像度を変更する

以下では設定例として、画面解像度を"1280×1024"に設定しています。

```
[ATDE ~]$ sudo vmware-config-tools.pl
:
None of the pre-built vmhgfs modules for VMware Tools is suitable for your
running kernel. Do you want this program to try to build the vmhgfs
module for
your system (you need to have a C compiler installed on your system)?
[yes] . . . (1)
:
What is the location of the directory of C header files that match your
running
kernel? [/lib/modules/2.6.8-3-686/build/include]
:
Do you want to change your guest X resolution? (yes/no) [no] yes . . . (2)

Please choose one of the following display sizes (1 - 13):

[1] "640x480"
[2] "800x600"
[3] "1024x768"
[4] "1152x864"
[5] "1280x800"
[6]< "1152x900"
[7] "1280x1024"
[8] "1376x1032"
[9] "1400x1050"
[10] "1680x1050"
[11] "1600x1200"
[12] "1920x1200"
[13] "2364x1773"
Please enter a number between 1 and 13:

[3] 7 . . . (3)
:
```

```
:  
Enjoy,  
  
--the VMware team  
  
[ATDE ~]#
```

図 4-3 画面解像度の設定例

- (1) C コンパイラがインストールされているのでそのまま[Enter]キーを入力します。
- (2) ATDE の画面解像度を変更するかを答えます。**yes** とタイプして[Enter]キーを入力してください。
- (3) お使いのモニタに合った画面解像度を番号で指定して[Enter]キーを入力してください。

4.2.3. X の再起動

[Ctrl]+[Alt]+[BackSpace]キーを入力し、X を再起動して画面解像度の設定を反映します。再起動が完了すると、指定した画面解像度で起動します。

4.3. 自動ログインしないようにするには

ATDE の起動時に、自動的にログインをしないようにする手順を説明します。

- ① アプリケーション>システム・ツール>ログイン画面の設定を選択します。



図 4-4 ログイン画面の設定 1

- ② root のパスワードを聞かれるので、「root」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4-5 root パスワード入力画面

- ③ 「起動してすぐに自動でログインする」のチェックを外します。



図 4-6 ログイン画面の設定 2

- ④ ATDE を再起動します。再起動が完了すると自動的にログインしなくなっています。

改訂履歴

Ver	年月日	改訂内容
1.0.0	2006.12.28	・初版発行

ATDE Install Guide

2006年12月28日 version 1.0.0

株式会社アットマークテクノ

060-0035 札幌市中央区北5条東2丁目 AFTビル6F

TEL:011-207-6550 FAX:011-207-6570
